

自己評価報告書

平成23年 5月17日現在

機関番号：36201

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20530556

研究課題名（和文） 沖縄社会の共同性と社会福祉に関する歴史的研究

研究課題名（英文） The historical study on communal relations and the welfare system in Okinawa

研究代表者

石井 洗二（ISHII SENJI）

四国学院大学・社会福祉学部・教授

研究者番号：00299356

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：社会福祉思想・社会福祉史

1. 研究計画の概要

沖縄社会の共同性と沖縄住民のアイデンティティとの関連に留意しながら、戦前および米軍統治下における沖縄の社会福祉史に関する史料を収集・分析し、それをふまえて沖縄社会の共同性と社会福祉に関する理論的な考察を行う。具体的には、次の3つの内容によって構成される。

(1)戦前沖縄の社会事業に関する制度・施策、行政組織、施設・団体についての考察

(2)米軍統治下沖縄の社会福祉に関する制度・施策、行政組織、施設・団体、および先駆的な社会福祉実践についての考察

(3)沖縄社会の共同性に関する研究史の整理と沖縄住民のアイデンティティ形成との関連についての考察

2. 研究の進捗状況

これまでに、戦前沖縄における社会事業に関する史料収集と分析、米軍統治下の沖縄諮詢会・沖縄民政府・沖縄群島政府による社会福祉制度・行政に関する史料収集と分析、米軍統治下の沖縄社会福祉協議会に関する史料収集と分析、米軍統治下の沖縄社会に関する史料収集と分析、沖縄社会の共同性に関する文献・資料の分析などを中心に研究を行った。主な研究成果としては、次の通りである。

(1)戦前沖縄における社会事業について、『沖縄県社会事業要覧』『知事事務引継書』『沖縄県会議事速記録』『沖縄県統計書』などの分析を行い、さらに『社会事業年鑑』『社会事

業統計要覧』など当時の中央資料によってデータを補いながら、論文「戦前沖縄における社会事業行政の成立」にまとめた。

(2)『福祉新聞』『琉球新報』『沖縄タイムス』等の分析、沖縄社会福祉協議会に関する史料収集と分析を行い、論文「1950年代の沖縄社会福祉協議会に関する考察」、論文「1950年代の沖縄における共同募金運動」にまとめた。

(3)『福祉新聞』『うるま新報』等の分析、『諮詢会記録』『民政府記録』『沖縄民政府公報』等の沖縄諮詢会および沖縄民政府に関する史料収集と分析を行い、論文「沖縄諮詢会および沖縄民政府における社会福祉」にまとめた。

(4)その他、戦前・戦後の関連公文書、社会福祉施設や社会福祉実践の関連史料等を収集・分析した。また、米軍統治下の社会状況について考察を深めるとともに、米軍統治下の沖縄社会の共同性に関する文献・資料の収集と分析を行った。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）

各年度ごとの研究計画については、おおむね予定通りに進捗しているが、平成21年度に計画していた当時の関係者への聞き取り調査については、諸般の事情により実現に至らなかった。

4. 今後の研究の推進方策

戦前沖縄の社会事業に関する考察、米軍統治下沖縄の社会福祉に関する考察、および沖縄社会の共同性に関する考察について、補充的な資料収集と分析を行い、以上をふまえて研究成果報告書を作成する予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

- ① 石井洗二、沖縄諮詢会および沖縄民政府における社会福祉：1945年～1949年、四国学院論集、査読無、134号、2011、23-46頁
- ② 石井洗二、1950年代の沖縄における共同募金運動、四国学院論集、査読無、131号、2010、1-27頁
- ③ 石井洗二、1950年代の沖縄社会福祉協議会に関する考察—1958年までの組織整備を中心に—、四国学院論集、査読無、129号、2009、1-20頁
- ④ 石井洗二、戦前沖縄における社会事業行政の成立、四国学院論集、査読無、127号、2008、17-42頁

[学会発表] (計1件)

- ① 石井洗二、社会福祉史研究と沖縄、社会事業史学会第39回大会、2011年5月8日、ノートルダム清心女子大学